

平成 27(2015)年度事業報告書

一般財団法人 高度映像情報センター

(A V C C)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

目次

I はじめに.....	4
II 震が関ナレッジスクエア(KK ²)事業	5
(1)事業全体.....	5
-1 自主プログラムとのべ参加者数.....	5
-2 メンバー数および Web 会員数.....	6
-3 施設利用状況(スタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部)	7
(2)人と人の絆と地域の再生.....	8
-1 大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業.....	8
-2 心と体のストレッチ ～身につけよう、キズナヂカラ～.....	21
-3 災強！震が関防災キャンプ ～帰宅困難を体験して「防災体質」になろう～.....	21
-4 「震が関オープンランチミーティング」開催(官民交流の場の提供)	21
-5 「震が関ばたけ」開催(官民交流の場の提供)	22
-6 命をつなぐポジティブ防災 ～2日間で市民救助隊(CFR)隊員を訓練します～	22
(3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ.....	23
-1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」.....	23
-2 しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～.....	24
-3 しごと力向上ライブラリ ～いつでも、どこでも、誰でも、しごと力を学べる～.....	25
-4 震が関カウンセリングプログラム ～経験豊かな専門家にキャリアについて相談～	26
-5 キャリアカフェ.....	27
-6 KK2good books ～KK2 おすすめ書籍情報～	28
-7 イノベーションプログラム ～産学官連携による大学教育改革プログラム～.....	28
-8 コンピテンシー・チェック ～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～.....	29
(4)社会の課題を担うアクティブシニアを応援.....	30
-1 生涯現役版「エキスパート・スタジオ」.....	30
-2 KK ² オリジナル DVD ライブラリ頒布～生涯現役版「エキスパート・スタジオ」～	30
(5)文化に親しむ交流事業(KK ² 文化プログラム).....	31
-1 KK ² エントリープログラム.....	31
-2 震が関寄席.....	31
-3 震が関ミュージックサロン	32
-4 震が関音楽祭.....	32
-5 食と文化講座	33
-6 震が関シアター+トークイベント	34

-7 江戸 TOKYO 散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～	35
(6) その他(協賛プログラム)	36
(7) Web サイト・メールマガジン等による情報発信他.....	37
-1 KK ² Web サイトでの情報発信	37
-2 霞が関ナレッジスクエア Facebook ページ	37
-3 メールマガ「メッセージ from KK ² 」発行(毎週金曜日)	37
(8) その他運営	38
-1 霞が関ナレッジスクエア運営委員会の開催	38
-2 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定	40
Ⅲ コンサルティング事業	41
(1) 情報システムコンサルティング業務.....	41
(2) ネットワーク構築コンサルティング業務	41
(3) 防災・消防関連コンサルティング業務.....	42
(4) 地域活性化コンサルティング業務.....	43
(5) 情報セキュリティコンサルティング業務	43
(6) 事業継続計画(BCP)策定業務.....	44
(7) 危機管理教育支援	44
(8) プライバシーマーク認定審査業務	47
Ⅳ 運用保守等業務支援事業	48
(1) 情報システム運用支援業務	48
(2) TV 会議システム運用業務.....	48
(3) 情報システム保守業務	49
Ⅴ 教材企画制作事業	49
(1) 生涯学習情報提供システム事業	49
Ⅵ 運営に関する事項	50
(1) 役員等名簿.....	50
(2) 会議等の開催	50
(3) 会員等 (平成 28 年 3 月).....	51

I はじめに

AVCC は 1966(昭和 41)年に労働大臣の認可を得て財団法人視聴覚コンサルタントセンター技能訓練協会(略称 AVCC)としてスタートを切りました。その後 1972 年文部大臣の認可を得て共管となり、三年前一般財団法人高度映像情報センター(略称 AVCC)へ移行しました。今期は財団認可から通算では第 50 期の事業報告となりました。半世紀の実績を積み上げてこれたのは官民のお客様のお陰であり、日頃から進展する ICT の先端技術を見据えて活動してきた従業員役員等関係者のたゆまぬ努力のお陰であり、深く感謝する次第です。

五年前に起きた 3.11 東日本大震災で岩手県気仙の被災地を訪れるようになり、私達は都会と地方との「ICT デバイド」の拡大を認識することになりました。国は ICT 立国を唱え住民に対する行政サービスも高度化してまいりましたが、津波で多くの住民が家屋を流出した高台の公民館には、アナログ電話一本しかなく、この地域唯一の公的施設の ICT インフラはまったく未整備でした。

「ICT を活用した、何時でも、何処でも、誰でも、学べる社会」を標榜する AVCC は、まず公民館に高速回線を引き WiFi 環境を整備し、ノート PC を多数持ち込み「PC ネットよろず相談」を毎月開催し、公民館報で告知し参加者を募りました。すると「被災前と被災後の写真を整理したい」「婦人会の会計報告を作りたい」「仮設住宅で配るチラシを作りたい」「ネットで買い物をしたい」「名簿を整理し DM を出したい」「三陸の海産物情報を発信したい」「ボランティアさんと facebook で繋がりたい」「海外に住む孫と Skype で会話したい」といった様々なニーズを持つ住民の方々(主にシニア層)が次々と来られました。スタッフは一人一人に face to face で向き合い課題を解決し、住民一人一人が ICT の恩恵を体験していきました。またスタッフは向い合った方々から被災された時の様子、その後のコミュニティ再生の状況をじっくり伺いました。これはスタッフにとっても貴重な学びとなりました。被災地の方々とは都会から出向いたスタッフが「共に考え、共に学び、共に担う」新しい協働が実現できました。

この活動は、国の「学びを通じた被災地コミュニティ再生支援事業」等に採択され、自律したコミュニティ再生の後押しと「ICT デバイド」解消に取り組んできましたが、国が定めた「集中復興期間」は 2015 年度で終了しました。高台の公民館には、五年経った今もアナログ電話一本しかありません。行政は「復興とは被災前の状態に戻す」という意識のようです。被災地の自立を促すことは十二分に理解します。地方創生から新たに一億総活躍社会を掲げ、「みんながもう一歩前に出ることができるよう日本に変えていかなければならない」と謳っていますが、それには「ICT デバイド」の解消が不可欠ではないでしょうか？高速通信網の整備だけでは画竜点睛を欠きます。

AVCC は来年度も、行政が手を付けない公民館の ICT インフラを自主事業として維持し、旅費自己負担のボランティアスタッフを募りこの活動を細く長く持続する予定です。皆さまのご支援ご指導よろしくお願ひします。

Ⅱ 霞が関ナレッジスクエア(KK²)事業

(1) 事業全体

-1 自主プログラムとのべ参加者数

今年度は289プログラムを実施しました。延べ参加者数は、KK²会場での参加者が1,912名。遠隔会場での参加者は799名です。またWebサイトで公開しているオンデマンドコンテンツの視聴(Webページ訪問者)は23,009名。合計のべ25,698名がプログラムに参加していただきました。

図-1 自主プログラムと参加者数

※ 末崎地区公民館の参加人数は、大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業における現地活動参加、ライブ配信参加が含まれます。

プログラム内容	実施回数 および コンテンツ数 (web)	KK2会場 参加者合 計	属性内訳			遠隔会 場参加 (ライブ 配信含む) 合計	会場別内訳		Webペー ジ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会 員	一般		末崎 地区 公民館	職場・ 自宅		
人と人の絆と地域の再生										
2015「デジタル公民館まっさき」	6	91名	15名	60名	16名	487名	487名		1,345名	1,923名
災強！霞が関防災キャンプ	開催無し									
心と体のストレッチ	5	55名	24名	19名	12名				960名	1,015名
KK2オープンランチミーティング	9	122名								122名
霞が関ばたけ	8	87名								87名
命をつなぐポジティブ防災	開催無し									
特別企画	2	85名	5名	2名	52名	44名	7名	37名	840名	969名
しごと力向上エキスパートと学ぶ										
エキスパート・スタジオ	6	205名	26名	158名	21名	235名		235名	3,710名	4,150名
KK2しごと力道場	3	24名	10名	12名	2名				612名	636名
しごと力向上ライブ러리	18								2,218名	2,218名
霞が関カウンセリングプログラム	79	79名		79名						79名
キャリアカフェ	1	11名	6名	3名	2名				336名	347名
KK2 goodbooks	58									
イノベーションプログラム	1	22名	7名	9名	6名	13名		13名	518名	553名
コンピテンシー・チェック	9								549名	549名
新しい役割を担うアクティブ・シニアを応援										
生涯現役版エキスパート・スタジオ	開催無し									
文化に親しむ交流事業										
KK2エントリープログラム	6	358名	31名	24名	303名				2,576名	2,934名
霞が関寄席	3	297名	96名	69名	131名	20名	20名		1,033名	1,350名
霞が関ミュージックサロン	5	324名	1名	4名	319名				1,489名	1,813名
食と文化講座	4	130名	40名	48名	42名				2,273名	2,403名
霞が関シアター	1	22名	4名	13名	5名					
江戸TOKYO散歩	65								4,550名	4,550名
合 計	289	1,912名	265名	500名	911名	799名	514名	285名	23,009名	25,698名

-2 メンバー数および Web 会員数

昨年度よりメンバー数は増加しましたが、一昨年度(平成 25 年度 33 団体)に戻った状態です。さらに新規メンバー獲得に向けた提案活動や事業の PR 活動の強化が継続的な課題です。

図-2 メンバー種別

	メンバーの種類	年会費
協賛メンバー	民間企業・各種団体	一口120,000円/年、一口以上
	NPO法人	一口 60,000円/年、一口以上
	大学・専門学校	一口60,000円/年、一口以上
	個人	12,000円/年
一般法人メンバー		一口120,000円/年、一口以上
Web会員		無料(登録制)

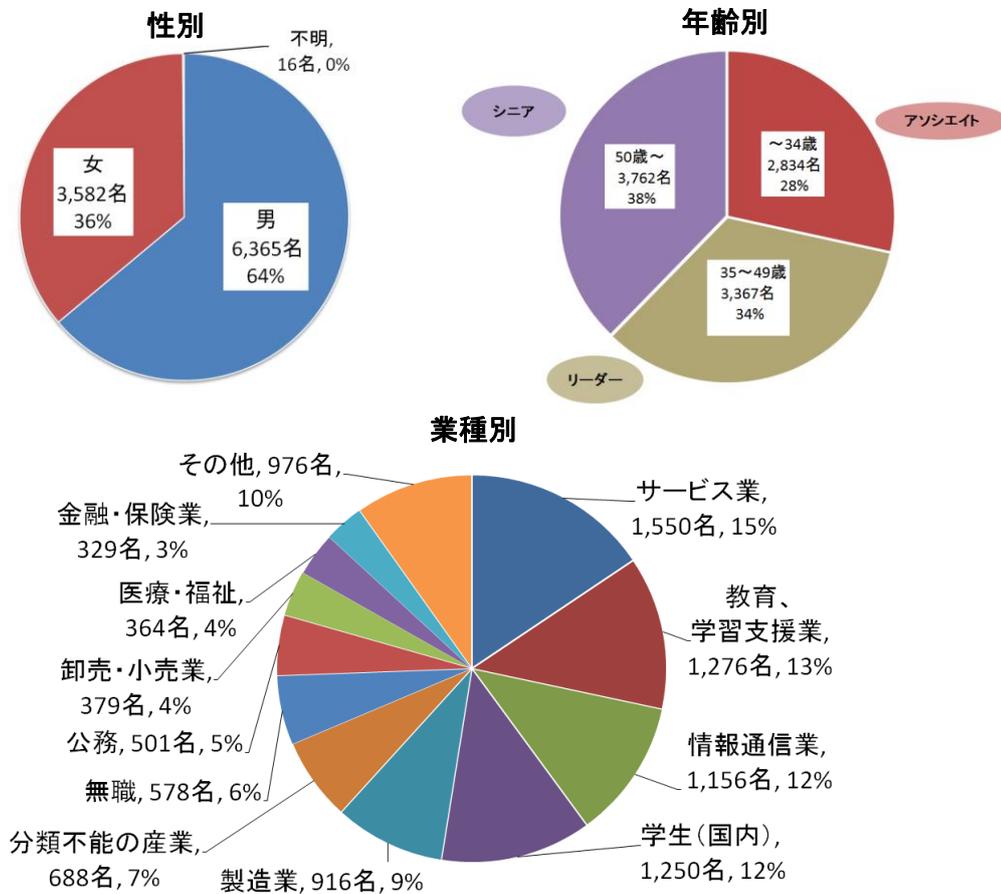
(税別)

図-3 メンバーおよび Web 会員数

	協賛メンバー				法人メンバー	協賛メンバー (個人)	Web会員
	民間企業・ 各種団体	NPO法人	大学・ 専門学校				
平成27年度	34	23	2	9	4	21	9,963
平成26年度	30	21	2	7	5	18	9,008

Web 会員数は、前年度より 955 名増加し 9,963 名となりました。性別では男性が 6 割、女性が 4 割、年齢別では「シニア」(50 歳～)が約 4 割と最も多い層となっていますが、ほぼ「アソシエイト」(~34 歳)、「リーダー」(35 歳～49 歳)を含め概ね 3 世代が均等となっています。業種については「サービス業」が最も多く、続いて「教育、学習支援業」「情報通信業」となっています。

図-4 Web 会員の属性



-3 施設利用状況(スタジオ、ラウンジ、エキスパート倶楽部)

KK²事業の収入は、協賛会費と施設貸出費が2つの大きな柱となっており、施設貸出を増やすことが重要な課題です。今年度は昨年度より貸出回数が27件増加しています。昨年度より、Webサイトで施設空き状況の確認、予約ができるサービスを提供しており、お客様に活用いただいております。昨年度の施設利用者ののべ人数は以下となっています。

図-5 施設利用者数のべ人数

	スタジオ+ラウンジ				ホワイエ (PC席) 利用者計	エキスパート倶楽部				KK2施設 利用者数 合計
	利用者数計	KK2主催事業 参加者	レンタル スペース 利用者	貸出回数		利用者数計	ランチ利用者	パーティ 参加者	貸出回数	
平成27年度	7,452名	1,912名	5,540名	174回	446名	14,935名	11,597名	3,338名	100回	22,833名
平成26年度	5,868名	1,333名	4,535名	147回	263名	15,607名	11,945名	3,662名	111回	21,738名

※協賛プログラム参加者、カウンセリングプログラムは、KK2主催事業に含む

①スタジオ貸出

メンバー及び一般に対して、セミナー、会議、交流会(パーティ)等の用途で、施設貸出し及びライブ配信・収録・同時通訳・TV 会議等の技術サービス提供を行っています(ネットワーク、技術提供は株式会社メディアリンク)。貸出実績の向上のため、施設貸出のPR活動の強化を行い稼働率の向上をめざしています。終日利用の促進のため、平日9時～17時のご利用いただく場合25%オフとなる割引プラン「終日利用プラン」も設定しています。

- ・開館日：月曜日から土曜日(日曜・祝日/年末年始を除く)
- ・開館時間：7時30分～22時

②交流カフェ「エキスパート倶楽部」貸出

メンバー及び一般に対してランチ・カフェサービス(平日11時30分～15時)以外の時間帯をレンタルスペースとして貸出しています(貸切、予約制)。貸切パーティが主な利用用途となっていますが、レンタルスペースとしてセミナーや会議の利用についても稼働率の向上をめざしています。

- ・開館日：月曜日から日曜日(祝日/年末年始を除く)
- ・平日開館時間：11時30分～15時(ランチタイム) レンタルスペース15時～22時(貸切、予約制)
- ・土日祝開館時間：11時～22時(貸切、予約制)

③ラウンジ貸出(TV 会議スペース)(メンバー専用)

最大16名で利用できるTV会議スペースです。55インチディスプレイ(2台)、デジタルオーディオシステム、HD対応TV会議システム、光回線を備えています。

④PC席貸出(ホワイエ/メンバー専用)

ホワイエに4席、メンバー専用のPC席を設けています。

(2) 人と人の絆と地域の再生

-1 大船渡市「デジタル公民館まっさき」事業

「平成 27 年度学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」(文科省・復興庁)の採択を受け、平成 24 年度、26 年度と同様、大船渡市末崎地区公民館、大船渡市教育委員会、当財団を中心とする任意団体“大船渡市「デジタル公民館まっさき」運営協議会”を組織して事業を実施しました。当財団は事務局、会計担当としてプロジェクトの企画・運営・管理を担いました。事業委託契約期間は 27 年 4 月 27 日～28 年 3 月 31 日までとされ、5回の団体活動と夏休み、暮れ、冬休みの親子参加活動、活動報告会、ウェブサイト、ネットコミュニティによる情報発信・交流活動などに取り組みました。「共に考え、共に学び、共に担う社会へ」をミッションとする KK2 事業理念の文字通りの実践活動です。

図-6 活動日程と活動支援者数

開催回	開催日	活動支援者数
1回	2015/5/30(土)-31(日)	13名
2回	2015/7/11(土)-12(日)	14名
3回	2015/9/26(土)-27(日)	13名
4回	2015/11/7(土)-8(日)	13名
5回	2016/2/13(土)-14(日)	13名
6回	2016/3/26(土)	25名
合計		91名

①4 年目の課題

a. ICT 環境の不足

東日本大震災の被災から4年経過しましたが、依然として公民館にはインターネット環境や住民利用パソコンがなく、公民館職員も情報の入手や情報発信にインターネットが使えない状況にあり、地域コミュニティの拠点にもかかわらず、復興から再生へ、そして地域創生に繋げるうえでのネックになっています。また、官民を問わず、住民のパソコン、インターネット活用をサポートする活動、サービスは大船渡市内にも末崎町内には顕在化していません。

b. 学びの機会、社会教育の不足

公民館には館長含め 5 人の嘱託職員・パートタイマースタッフが配置されているものの、業務として週6日間(火～日)当番制による施設管理、行政による地域ごとの住民説明会、地域の復興推進、振興会等の事務局にあたっています。しかし、社会教育や地域づくりに必要な人づくりなどに取り組む体制(人・物・金)には乏しく、あえて学びを通じて“ことおこし”人づくり“場づくり”などに取り組まなくてもよいとする風潮が続いています。しかし、現実には被災以前からの課題である少子高齢化社会に向かい、持続可能な地域づくり、被災からの復興のまちづくりなど直面する課題に対し、公民館や館長含む公民館職員には地域のリーダーシップ、ステークホルダーたちの調整機能が求められており、孤軍奮闘が続けられています。

②地域の要望と都会から提供できる取り組み

a. 地域活動や暮らしに役立つ ICT 活用を身につけたい

- 1) 末崎地区公民館のパソコン、インターネット利用、有害情報のフィリタリング、双方向テレビ会議など ICT 活用環境の整備
- 2) 定期的に ICT 活用に長けたボランティアが訪問し、地域住民のパソコン、インターネットなどの操作、スキルの向上、SNS 活用、お困りごと、楽しみ方などへ寄り添う相談、指導の実施
- 3) デジタル公民館モデルづくり(公民館情報のネット公開、地域情報の発信、活動内容のライブラリー化、FB による情報共有と交流)の実施

b. 地域の良さに気づき、地域に誇りを持つ、地域の学ぶ場の創出

- 1) 地域の語り部による地域を愛するところ、行動の見える化
- 2) 地域自身の活動への活動スタッフの参加と交流
- 3) 昭和 20 年代・30 年代の戦後復興に公民館が果たした機能や役割と現在の課題についての認識の共有。人、学びの場、ネットワーク、地域づくりなどに向けた一歩づくり。

③協力団体・関係者と役割分担

a. 末崎地区公民館

都会から学びにくる活動スタッフの受入れ、会場協力、学びのプログラムの企画・講師候補者等のアドバイス、交渉など。まっさきに学ぶ！まちおもいトークの語り部、講師の選定・交渉などプログラムの具体化にあたっては、地元のことをよく知り、人間関係も深い公民館長のアドバイス、フォローにより、地域住民にとっても知りたい、学びたいプログラムを実現することができ、都会から行く活動スタッフにとっても地域を学ぶよい機会になりました。

b. NPO 法人“居場所”創造プロジェクト

NPO 法人が住民の協力を得て管理運営しているハネウェル居場所ハウスでは、都会から訪問する活動スタッフが被災地の復興の現状やコミュニティカフェの運営について学ぶ場として5月活動、7月活動で視察研修に協力いただいたほか、前年に続いて「ふれいあいキッズデー」を夏冬各1回共同で開催するなど、NPO とデジタル公民館の事業協力を継続しました。

c. どこ竹@武蔵野三鷹 まっさきグループ

「夏休みものづくり教室」「ミニ門松づくり」の企画・事前準備・講師・参加者集めなど活動が自主自律的に行われ、事務局側は側面からの支援で済むなどデジタル公民館まっさき活動が地に足がついてきました。PC・ネットよろず相談活動と開催時に並行して、まっさきグループメンバーによるミーティング、新作発表、次回活動のに向けた研究(使用済み牛乳パックを利用したエコトンボ、使用済み菓子缶(ブリキ缶などを利用したとまりとんぼなど)が行われ、事務局側ではサポーターの派遣や助言を行いました。

d. 碁石地区復興まちづくり協議会・細浦地区再生協議会・平地域公民館・自治会

震災からの地域の復興・再生に取り組む地域団体である碁石地区、細浦地区、平地区にデジタル公民館まっさき活動に協力いただきました。

- ・碁石地区:中尊寺ハス(古代ハスに一種)の育成活動
- ・細浦地区:細浦復興朝市、内田地域津波避難訓練
- ・平地区:平組はしご虎舞の復活・熊野神社式年例祭奉納活動

e. 霞が関ナレッジスクエア

霞が関ナレッジスクエアは、昨年度同様、プロジェクトの事務局・会計担当として2012年度からの過去参加者やWeb会員を対象にPC・ネットよろず相談事業の参加活動スタッフを募集。技術士をリーダーにIT企業勤務者、自営業者らICT活用に精通した人、防災・減災・福祉等の専門家など、毎回、専門領域、参加経験、年代、男女などのバランスを考慮してチーム編成を行い、一人一人の住民に寄り添う活動を企画・実施しました。また、公民館側、現地の方々と協議、連絡調整、「まっさきに学ぶ!」「気仙に学ぶ!」「視察研修」などの学びの場のプログラムを具体化、実施しました。また、活動案内・報告を兼ねた地域情報発信、ネットで学ぶ、ネットで交流する活動として「デジタル公民館まっさき」Webサイト、フェイスブックなどを運営しました。

④実施した事業の概要

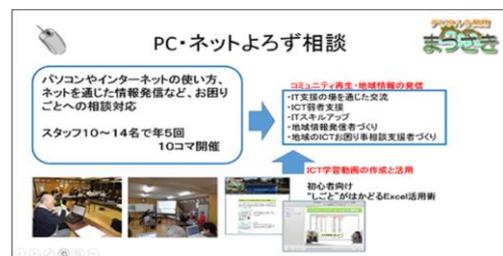
a. ICT活用環境の整備

前年度に続き末崎地区公民館に光回線と無線LAN、ノートPCによるインターネット環境とハイビジョンテレビ会議システムを設置、また小中井仮設住宅集会所に光回線と無線LAN、ノートPCによるインターネット環境を提供し、霞が関ナレッジスクエアのVPN傘下で有害情報のフィルタリングを含め、システムの運用管理を実施しました。

b.PC・ネットよろず相談

東京から訪問する専門スタッフと交流しながらICTの技能を高めたり、困りごとを解決する活動「PC・ネットよろず相談」を、おおよそ2カ月に1回、定期的に行いました。

「PC・ネットよろず相談」では、参加者のICT技能レベルや各回に行った内容等を記録したカルテを作成し、運用しました。また、次の回までの期間に住民が自発的に学べるような学習動画コンテンツ「初心者向け”しごと”がはかどるExcel活用術」を作成し、活用しました。



c. まっさきに学ぶ！ 気仙に学ぶ！

日々の暮らしや未来に向けたまちづくりを学ぶ場を作る活動を行いました。

地域の人とプロジェクトメンバーが共に学び、共に考えることで起こる相乗効果をコミュニティ再生につなげていくことを意図し、まっさきに学ぶ、気仙に学ぶ研修会として、「まちおもいトーク」などを定期活動時に開催し、年4回実施した。各回ごとにテーマを設定し、地元で復興に取り組んでいる方を語り部（講師）としました。

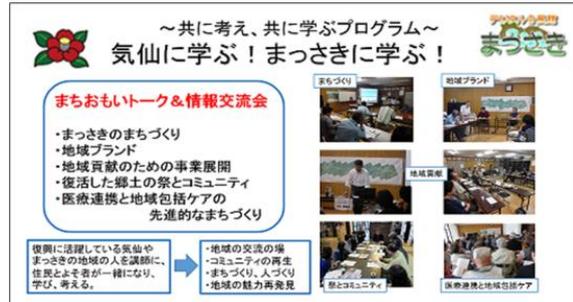
講師の話聞いた後、参加者との質疑応答、参加者間の意見交換により、テーマについて深めた。その結果、自分たちの「まち」を自分たちが思っていたほど知らないということの気づきにもなりました。また、プロジェクトメンバーが地域の暮らしや復興状況を知る機会として、早朝研修や視察研修会を実施し、地域の方々との交流を深めました。各回のテーマは次の通りです。

・5月

- ① 「第1回 まちおもいトーク」&情報交流会 — 復興と地域創生の課題について —
- ② 視察研修会
住民運営のコミュニティ施設・居場所ハウスの運営状況について
- ③ 早朝視察研修会
細浦漁港・北浜わかめ組合虹の会こんぶ出荷作業、再建された松嶋神社
- ④ 視察研修会
碓石浜、高台移転造成地、竣工した長洞元気村なでしこ工房・番屋

・7月

- ① 「第2回 まちおもいトーク」&情報交流会 — 地域ブランド —
- ② 研修会（居場所ハウス）
子どもの見守り活動、末崎町地区の被災の特徴について
- ③ 早朝視察研修会
碓石半島を海から視察、三陸大津波に備えて建てられた気仙大工の家の視察
- ④ 視察研修会（長洞元気村）
なでしこ工房・番屋・語り部ツアー



・9月

- ① 「第3回 まちおもいトーク」&情報交流会ー 企業家がおもうまちづくりー
- ② 早朝視察研修会
内田地区大津波避難訓練、細浦復興朝市
- ③ 視察研修会
小河原地区 被災地利用計画

・11月

- ① 研修会
熊野神社式年例祭を契機とした伝統芸能の復活とコミュニティ
- ② 早朝視察研修会
大船渡温泉薪焚きボイラー施設、門之浜漁港牡蠣剥き作業

・2月

- ① 「第4回 まちおもいトーク」&情報交流会
ー 医療連携と地域包括ケアのまちづくりー
- ② 視察研修会
碓石地区 高台集団移転住宅地・被災たんぼ・泊里漁港・熊野神社

d. シニアの出番づくり事業

まっさき竹とんぼグループと協働し、女性と違って引っ込みがちな男性シニアに地域の出番と役割を創出する活動を行いました。今年度は竹やカルミに加え、使用済みの牛乳パック、ジュースパック、菓子箱のブリキなどの新たな材料を用いたエコトンボ、バランストンボ、かぶと虫づくりに挑戦し、夏休みの親子ものづくり教室、町民文化祭での作品展示と実演、年末恒例のミニ門松づくり等を実施しました。



e. まっさき ふれあい映画館

11月8日(土)ふるさとセンターを会場に、1950年に教育目的の非商業映画として制作され、当時日本全国で上映された占領下のCIE(Civil Information and Education section)映画「公民館」「スクエア・ダンスを踊ろう」「格子なき図書館」の3本を上映しました。地域の方16名の参加があり、総勢30名で鑑賞しました。

鑑賞後に、日本体育大学の上田幸夫教授から映画に登場していたシーンなどの時代背景や戦

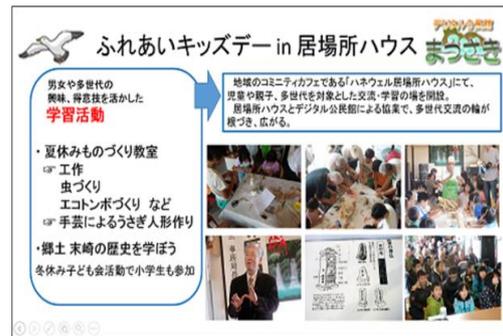
後復興期の社会づくりと公民館、図書館について解説があり、質疑応答を行いました。戦後の公民館の歴史、目的、位置づけなどを振りかえる中で、末崎町の公民館の事情、経緯にも話が及び、東日本大震災後の公民館の役割、課題について話し合われました。

3月26日(土)ふるさとセンターを会場に、南三陸町戸倉地区波伝谷集落の東日本大震災被災前の暮らしを記録した「波伝谷に生きる人びと」の上映会を行いました。末崎町内の公民館関係者、愛林公益会関係者、婦人部・食生活改善・漁協婦人部など女性グループ、ごいし民俗誌関係者らを中心に、約40名の参加がありました。小漁村集落の暮らしという意味では、波伝谷集落も末崎町の集落も共通する点もあり、上映終了後、暮らしの復興、心の復興、コミュニティ再生の仕組みづくり、などについて意見交換しました。



e. ふれあいキッズデーin 居場所ハウス

8月9日「夏休みものづくり教室」(講師:どこ竹@武蔵野三鷹まっさきグループ)、1月11日冬休み子ども会活動と連携した「郷土末崎の歴史を学ぼう」(講師:末崎の昔を語る会)を実施。デジタル公民館のふれあいキッズデー企画運営委員、居場所おたすけ隊などによる地元ならではのコンビネーション・コラボレーションを發揮、いずれも多世代交流の学びの場として盛況となりました。



f. 公民館のデジタル化

昨年度から引き続き、末崎地区公民館等に光通信によるインターネット環境、並びに無線 LAN 環境を常設しました。また、ノートパソコン環境、WEB サーバ、メールサーバを用意して、住民がいつでもパソコン、インターネットを使えるようにしました。整備した環境は次の通りです。

- ・末崎地区公民館 1階事務室、和室、廊下フリースペース(常設 PC2 台)
- ・末崎地区公民館 2階会議室(非常設 PC5 台)
- ・小中井仮設談話室(常設 PC 2 台)
- ・小中井仮設自治会長宅(常設 PC 1 台)
- ・末崎地区公民館 2階会議室 ハイビジョンテレビ会議運用環境

g. ICT による情報発信、情報交流

「デジタル公民館まっさき」Web サイト(公式サイト)、「デジタル公民館まっさき」フェイスブック、「デジタル公民館まっさき関係者グループ」フェイスブック、メーリングリストなどの活用により、地域の方と活動スタッフ、末崎町出身者などの情報共有や末崎町の地域情報の発信を行いました。PC・ネットよろず相談で写真取り込みやフェイスブック活用を身に付けた方々がこれらの SNS を活用してスキルとセンスに磨きをかけました。



⑤ 学びのプログラムなど事業実施数とスタッフ・現地参加者数

図-7 活動参加者数

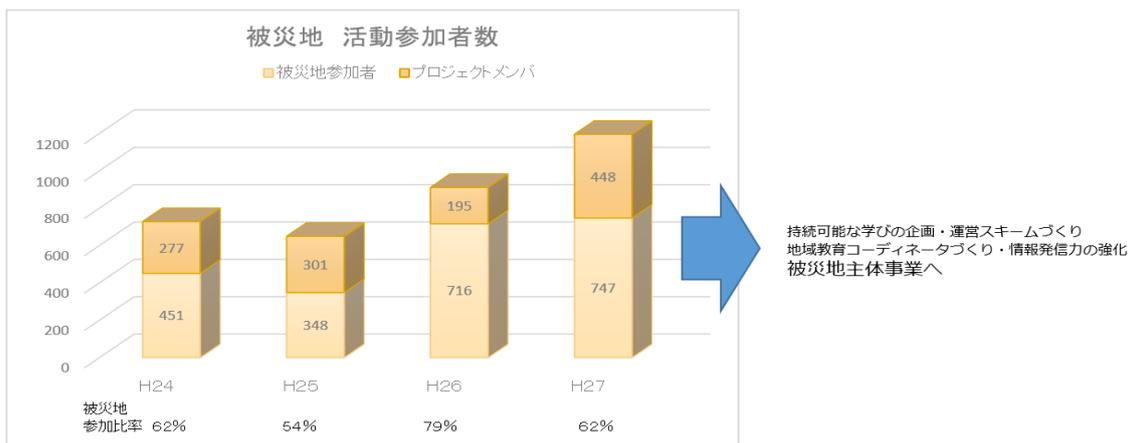


図-8 運営協議会開催

1.運営協議会	被災地				プロジェクトメンバー	
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	合計
2015年4月29日(水) 18:30～20:30 第1回 運営協議会 委員会	9名			9名	4名	13名
2015年9月17日(土) 18:30～20:00 第2回 運営協議会 委員会	8名	1名		9名	4名	13名
2016年2月13日(土) 16:00～17:30 第3回 運営協議会 委員会	6名		2名	8名	12名	20名
3月26日(土) 14:00～15:30 第4回 運営協議会 委員会(活動報告会)	7名	7名	18名	32名	11名	43名
総計	30名	8名	20名	58名	31名	89名

図-9 プログラム参加者数

公民館での、まちづくり・人づくり、 地域創生を学ぶプログラム	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
5月30日(土) 11:45～12:45 視察・研修「ハネウエル居場所ハウス」	1名		2名	3名	13名	16名
5月30日(土) 18:30～21:00 第1回「まちおもいトーク」&情報交流会	2名		10名	12名	12名	24名
5月31日(日) 7:00～ 8:45 視察・研修 早朝視察(細浦地区など)		4名		4名	12名	16名
5月31日(日) 14:00～ 16:00 視察・研修 早朝視察(長洞元気村)		3名		3名	12名	15名
7月11日(土) 11:45～12:45 視察・研修「ハネウエル居場所ハウス」	2名		5名	7名	14名	21名
7月11日(土) 18:30～21:00 「まちおもいトーク」&情報交流会(第2回)	2名		12名	14名	14名	28名
7月12日(日) 7:45～8:45 視察・研修 早朝視察(気仙大工訪問他)	1名		3名	4名	14名	18名
7月12日(日) 13:30～15:00 視察・研修「長洞元気村なでしこ工房」	3名		3名	6名	14名	20名
7月22日(水) 13:00～15:00 視察・研修 ハス見本園見学	2名		2名	4名	1名	5名
9月26日(土) 18:30～20:30 「まちおもいトーク」&情報交流会(第3回)	1名	1名	30名	32名	13名	45名
9月27日(日) 14:30～15:30 視察・研修 「小河原地区被災地視察と跡地利用計画」	1名		2名	3名	13名	16名
11月8日(日) 14:30～16:00 視察・研修「ハネウエル居場所ハウス」	2名		2名	4名	11名	15名
2016年2月13日(土) 13:30～15:30 「まちおもいトーク」&情報交流会(第4回)	2名		45名	47名	12名	59名
2016年2月14日(日) 14:30～16:00 視察・研修「基石地区」	1名		2名	3名	12名	15名
総計	20名	8名	118名	146名	167名	313名

3.地域における学習活動						
PCネットよろず相談	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年5月30日(土)～5月31日(日) PCネットよろず相談 2コマ 5.5時間			17名	17名	25名	42名
9月26日(土)～9月27日(日) PCネットよろず相談 2コマ 5.5時間			17名	17名	26名	43名
11月7日(土)～11月8日(日) PCネットよろず相談 2コマ 5.5時間			15名	15名	15名	30名
2月13日(土)～2月14日(日) PCネットよろず相談 2コマ 4.5時間			21名	21名	24名	45名
総計			70名	70名	90名	160名
シニアの出番づくり事業	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年7月11日(土) 13:30～16:00 まっさき竹とんぼグループミーティング			4名	4名	1名	5名
9月26日(土) 13:30～16:00 まっさき竹とんぼグループミーティング			5名	5名	1名	6名
12月12日(土) 16:00～17:30 みんなのミニ門松づくり教室会場準備、 進行、運営会議		2名	4名	6名	4名	10名
12月13日(日) 9:00～12:00 みんなのミニ門松づくり教室	7名	5名	50名	62名	4名	66名
2月14日(日) 10:00～12:00 まっさき竹とんぼグループミーティング			7名	7名	1名	8名
総計	7名	7名	70名	84名	11名	95名
避難訓練への参加	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年9月27日(日) 6:30～8:30 内田地域大津波避難訓練			25名	25名	13名	38名
総計			25名	25名	13名	38名
町民文化祭への参加と 「まちおもしろフォト」の作成	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年11月7日(土)～11月8日(日) 末崎町民文化祭参加			150名	150名	8名	158名
総計			150名	150名	8名	158名

熊野神社式年大祭の見学など	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年10月30日(金) 17:00～19:00 はしご虎舞「揃い」取材		1名		1名	1名	2名
10月30日(金) 18:00～20:00 気仙法印神楽 取材		1名		1名	1名	2名
10月31日(土) 8:00～14:00 式年大祭 視察・映像収録		1名		1名	1名	2名
総計		3名		3名	3名	6名

まっさきふれあい映画館	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
11月7日(土) 18:30～20:30 ふれあい映画館	1名		16名	17名	13名	30名
3月26日(土) 15:45～18:45 ふれあい映画館		2名	35名	37名	2名	39名
総計	1名	2名	51名	54名	15名	69名

4.土曜日等を中心とする学習活動等の実施

「ふれあいキッズデー in 居場所ハウス」	被災地				プロジェクトメンバー	合計
	講師・スタッフ	協力者	参加者	小計	講師・スタッフ	
2015年7月21日(火) 11:00～12:00 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「夏休みものづくり教室」事前打ち合わせ		2名		2名		2名
7月28日(火) 11:00～12:00 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「夏休みものづくり教室」事前打ち合わせ		3名		3名		3名
8月4日(火) 11:00～12:00 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「夏休みものづくり教室」事前打ち合わせ		2名		2名		2名
8月9日(日) 13:00～15:30 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「夏休みものづくり教室」	2名	13名	30名	45名	1名	46名
1月6日(火) 11:00～12:00 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「郷土 末崎の歴史を学ぼう！」 事前打ち合わせ		3名		3名		3名
1月11日(日)10:00～11:30 ふれあいキッズデーin 居場所ハウス 「郷土 末崎の歴史を学ぼう！」	1名	8名	68名	77名	2名	79名
総計	3名	31名	98名	132名	3名	135名

	講師・スタッフ	協力者	参加者	被災地 小計	プロジェクトメンバー 小計	合計
1.運営協議会	30名	8名	20名	58名	31名	89名
2.研修会・講習会事業	20名	8名	118名	146名	232名	378名
3.地域における学習活動	8名	12名	366名	386名	140名	526名
4.土曜日等を中心とした子ども学習活動	3名	31名	98名	132名	3名	135名
総計	61名	59名	602名	722名	406名	1,128名

⑥ 「デジタル公民館」の映像コンテンツ公開

今年度事業を通じて下記 12 本の映像コンテンツを制作しました。デジタル公民館まっさき Web サイトで公開し、まっさきや学びの情報を広く発信しています。

図-10「デジタル公民館まっさき活動」公開動画



開催回	公開動画	講師（敬称略）
第1回	第1回 まちおもいトーク	志田 仁 大船渡市市民活動支援センター事務局／碓石地区在住 滝田松男 平林仮設住宅在住
第2回	「まっさきに学ぶ！」『私の考える地域ブランド』	志田仁 碓石地区在住
	「まっさきに学ぶ！」『好齢ビジネス長洞チャレンジ』	村上誠二 陸前高田市広田町長洞元気村 事務局長
第3回	『大船渡温泉は三陸復興に必ず役立つ1000年続く事業』	志田豊繁 碓石地区在住
第4回	『住民参加で進めよう！医療連携と地域包括ケアのまちづくり』	滝田有 滝田医院院長／気仙医師会会長/ 一般社団法人未来かなえ機構代表理事

⑦ **KK²プログラムライブ中継(KK²⇒まっさきふるさとセンター)**

a. **インターネットライブ中継**

1) AVCC 事業説明会&特別講演会

地方創生シニアが主役

日時 6月5日 14:00～17:00

2) 霞が関寄席

チャリティ霞が関寄席

日時 9月26日 15:20～17:00

b. **双方向ハイビジョンテレビ会議(KK2⇄まっさきふるさとセンター)**

1) 運営協議会でのテレビ会議利用

日時 4月29日 18:30～20:30 第1回運営協議会

9月17日 18:30～20:00 第2回運営協議会

2) デジタル公民館まっさき&復興支援 IT ボランティア

活動報告会(第4回運営協議会兼務)をテレビ会議中継しました。

日時 3月26日 14:00～16:30

開催日	プログラムタイトル	会場別内訳			合計
		末崎地区	長洞元気村	職場・自宅	
2015/6/5(金) 特別企画	「平成27年度AVCC&KK2特別講演会」～「地方創生、シニアが主役」～	7名		37名	44名
2015/9/26(土) 寄席	チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演会-平成27年9月	20名			20名
		合 計			64名

⑧ 公民館のネット・インフラの整備による成果

Web サイト・メールサーバ構築運用、Facebook 情報交流を行いました。

- a. 館内 PC・ネットワーク利用時間(3 箇所計) 月平均 172 時間(昨年度 118 時間)
- b. “デジタル公民館まっさき”Web サイト記事投稿 59 件(うち現地からの発信 17 件/昨年度 0 件)
- c. 映像コンテンツ制作:14 本(うち 12 本公開、2 本記録)

-2 心と体のストレッチ ～身につけよう、キズナデカラ～

2014 度よりスタートした「日常」の積み重ねが「非日常」を超える！をテーマに、日々自分の心と体に向き合うことの大切さ、人と人とのきずなづくりの大切さについて実感できるプログラムです。参加者同士で楽しくコミュニケーションをとりながら、体をリラックスさせて“心の伸び”をしていただく内容です。今年度は、5回開催し、参加者数はのべ55人でした。

心と体のストレッチ活動風景



図-11 「心と体のストレッチ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
第4回「ストレスをコントロールする」 ストレスは敵か味方か？	2015/4/24(金)	13名	5名	5名	3名	212名	225名
第5回「モチベーションをコントロールする」 超一流と呼ばれる人たちの「やる気」から学ぶ	2015/6/19(金)	12名	5名	5名	2名	253名	265名
第6回「逆境に負けないチカラを鍛える」 あなたのレジリエンス・マッスルを測定しよう	2015/8/21(金)	9名	2名	5名	2名	182名	191名
第7回「呼吸筋を鍛え、声を武器にする」 年末は大声を出してスッキリしませんか？	2015/12/18(金)	13名	4名	4名	5名	180名	193名
第8回「今こそ、ダイエツ細胞を刺激する」 血流アップで心も体もぼっかほか！	2016/2/19(金)	8名	8名	0名	0名	133名	141名
合計		55名	24名	19名	12名	960名	1015名

-3 災強！震が関防災キャンプ ～帰宅困難を体験して「防災体質」になろう～

災害発生により帰宅困難者となったという想定で、参加者は制約のある環境の中、見知らぬ者同士で助け合いながら一晩を過ごすプログラムです。体験を通じて自分たちで考え、学び、気づきを得ることを目的としています。プログラム終了後もメーリングリストで約20日間講師と参加者が交流を行い、各人の防災課題をクリアすることで、防災意識を継続し本当の「防災体質」を目指します。

災強！震が関防災キャンプ風景



2015年10月16日に開催予定でしたが、最少催行人数に達しなかったため中止になりました。

-4 「震が関オープンランチミーティング」開催(官民交流の場の提供)

東日本大震災発災をきっかけに復興支援に向けた情報交換の場としてスタートした「オープンランチミーティング」は、行政、NPO、企業、大学など様々な分野の若手が集まり情報交換、交流を行うことを目的としています。

ランチミーティング風景



今年度は、毎月1回第2木曜日の12時～13時15分、ラウンジで実施、テーマは復興支援、ソーシャルビジネス、学校と地域の連携、中央省庁の政策など様々です。ランチ

は各自持ち込みで、KK2 は会場費として一人 500 円をいただき、会場提供に協力しています。今年度は 9 回開催し、参加者数はのべ 122 名でした。

図-12 「霞が関オープンランチミーティング」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			合計
			メンバー	Web会員	一般	
霞が関オープンランチミーティング 1	2015/5/14(木)	17名	0	0	17名	17名
霞が関オープンランチミーティング 2	2015/6/10(水)	16名	0	0	16名	16名
霞が関オープンランチミーティング 3	2015/7/8(水)	14名	0	0	14名	14名
霞が関オープンランチミーティング 4	2015/9/10(木)	13名	0	0	13名	13名
霞が関オープンランチミーティング 5	2015/10/8(木)	12名	0	0	12名	12名
霞が関オープンランチミーティング 6	2015/11/12(木)	8名	0	0	8名	8名
霞が関オープンランチミーティング 7	2015/12/10(木)	10名	0	0	10名	10名
霞が関オープンランチミーティング 8	2016/1/14(木)	13名	0	0	13名	13名
霞が関オープンランチミーティング 9	2016/2/18(木)	19名	0	0	19名	19名
合 計		122名			114名	122名

-5 「霞が関ばたけ」開催（官民交流の場の提供）

「霞が関ばたけ」は、農林水産省の有志が主催し、産学官で農業に興味がある人が集まり、六次産業化や食についての早朝勉強会です。KK2 は会場費として一人 500 円をいただき、会場提供に協力しています。今年度は 8 回開催し、参加者数はのべ 87 名でした。

図-13 「霞が関ばたけ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			合計
			メンバー	Web会員	一般	
霞が関ばたけ 1	2015/04/14(火)	10名	0名	0名	10名	10名
霞が関ばたけ 2	2015/05/12(火)	10名	0名	0名	10名	10名
霞が関ばたけ 3	2016/01/12(火)	11名	0名	0名	11名	11名
霞が関ばたけ 4	2016/01/26(火)	10名	0名	0名	10名	10名
霞が関ばたけ 5	2016/02/16(火)	17名	0名	0名	17名	17名
霞が関ばたけ 6	2016/03/01(火)	9名	0名	0名	9名	9名
霞が関ばたけ 7	2016/03/15(火)	7名	0名	0名	7名	7名
霞が関ばたけ 8	2016/03/29(火)	13名	0名	0名	13名	13名
合 計		87名	0名	0名	87名	87名

-6 命をつなぐポジティブ防災 ～2日間で市民救助隊(CFR)隊員を訓練します～

大規模災害が発生すると、ライフラインや警察、消防といったあらゆる機能が麻痺し被災者は一時的に孤立無援の状況に陥ります。その中でいかに自分の家族とコミュニティを守り生き延びるための基本的な学びを行う 2 日間の市民救助隊 (Community First Responder) 養成訓練です。

今年度は開催しませんでした。

命をつなぐポジティブ防災風景



(3)しごと力向上・エキスパートと学ぶ

-1 社会で活躍する人のしごと力を学ぶ「エキスパート・スタジオ」

「エキスパート・スタジオ」は、様々な分野で活躍するエキスパートをゲストに迎え、「仕事とは」「働くとは」「働く喜びとは」について考え学ぶインタビュー形式のキャリア教育プログラムです。ゲストは、さまざまな職業で活躍する若い世代から、人生二周目で社会の課題解決に挑戦するアクティブシニアまで、目の前の課題に全力で挑戦するエキスパート達です。今年度6名の方に登場いただき、これまで紹介したエキスパートは41名となりました。

「エキスパート・スタジオ」Webコンテンツ



図-14「エキスパート・スタジオ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般			
第36回 琴浦 容子さん (国際協力業界 総合職)	2015/4/23(木)	41名	1名	36名	4名	35名	1,164名	1,240名
第37回 坪田 康佑さん (アントレプレナー)	2015/7/30(木)	21名	5名	10名	6名	13名	874名	908名
第38回 守部智博さん (地方公務員) / 第39回 山田一久さん (介護福祉施設長)	2016/1/30(土)	48名	20名	17名	11名	35名	696名	779名
第40回 塩入 康夫さん (航空業界 グランドハンドリング 職)	2016/2/25(木)	45名	0名	45名	0名	128名	303名	476名
第41回 品川 優美さん (航空業界 空港旅客サービス 職)	2016/2/25(木)	50名	0名	50名	0名	24名	673名	747名
合 計		205名	26名	158名	21名	235名	3,710名	4,150名



第 36 回 琴浦 容子さん



第 37 回 坪田 康佑さん



第 38 回 守部 智博さん



第 39 回 山田 一久さん



第 40 回 塩入 康夫さん



第 41 回 品川 優美さん

図-15「エキスパート・スタジオ」ゲストのコンピテンシー

プログラム	人間力				知・考力			行動力
	自己認識力	感情マネジメント力	共感力	コミュニケーション力	状況把握力	原因究明力	選択決定力	
第36回 琴浦 容子さん（国際協力業界 総合職）	●		●					
第37回 坪田 康佑さん（アントレプレナー）		●					●	
第38回 守部 智博さん（地方公務員）	●							●
第39回 山田 一久さん（介護福祉施設長）			●					●
第40回 塩入 康夫さん（航空業界 グランドハンドリング職）				●			●	
第41回 品川 優美さん（航空業界 空港旅客サービス職）				●	●			

-2 しごと力道場 ～思考力を高める対話型トレーニング～

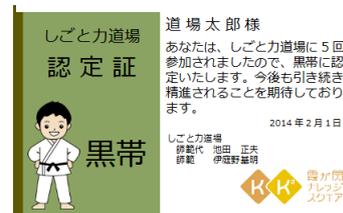
「アソシエイト」「リーダー」層を中心にビジネスにおける普遍的なテーマについて、定員 10 名の少人数でディスカッションを行い「自分で考える力」「自分を客観的に評価する力」を養うプログラムです。今年度は3回開催し、24名の方に参加していただきました。

また、継続的な参加によって効果的が上がるプログラムということで、現在参加回数に応じた段位認定を行い認定証の発行を行っています。参加回数に応じて、白帯(1回)、茶帯(3回)、黒帯(5回)の認定証の発行を行っており、現在 黒帯 3名、茶帯 3名、白帯 53名となっています。

「しごと力道場」開催風景



【しごと力道場 認定証】



【ディスカッションテーマ】

第9回 2015年6月27日(土)開催

「主体性とは」～言われたことだけやっちゃダメなの～

第10回 2015年10月31日(土)開催

「合理化とは」～企業の合理化は、社員にとっても合理的なのか～

第11回 2015年2月7日(土)開催

「信用」と「信頼」～信頼できるけど、信用できない人っているの～

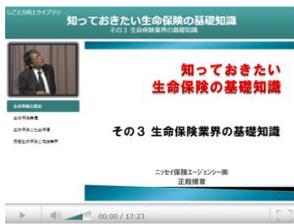
図-16 「しごとと力道場」 参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
第9回 KK2しごとと力道場	2015/6/27(土)	6名	3名	3名	0名	180名	186名
第10回 KK2しごとと力道場	2015/10/31(土)	11名	5名	6名	0名	276名	287名
第11回 KK2しごとと力道場	2016/2/27(土)	7名	2名	3名	2名	156名	163名
	合 計	24名	10名	12名	2名	612名	636名

-3 しごとと力向上ライブラリ ～いつでも、どこでも、誰でも、しごと力を学べる～

仕事や社会活動に必要な知識、スキルの習得に役立つ教材を毎月 1 本開発公開する「しごとと力向上ライブラリ」。今年度は以下の 6 講座 18 単元を開発し、これまでに公開した講座は 76 講座 220 単元となっています。講座の企画開発につきましては、講師の皆さまに KK2 の事業にご理解をいただき、無償でご協力いただいております。あらためてお礼を申し上げます。

図-17 平成 27 年度公開「しごとと力向上ライブラリ」(6 講座)



知っておきたい生命保険の基礎知識



超高齢社会:未知の社会への挑戦



岩手県気仙地域での地域医療実践と復興



“しごと”がはかどる Excel 活用術



ビジネスパーソンのための
ビジネス敬語の時間



新ビジネスパーソン必見!
大丈夫?あなたのことばづかい

※「知っておきたい生命保険の基礎知識」は昨年度からの継続講座、「ビジネスパーソンのためのビジネス敬語の時間」は 2009 年に制作した講座をリメイクし差し替えを行いました。

図-18 平成 27 年度公開「しごと力向上ライブラリ」(6 講座)

プログラム名	単元名	公開日	講師 (敬称略)
知っておきたい生命保険の基礎知識	3.生命保険業界の基礎知識	2015/4/23(木)	正殿博章 ニッセイ保険エージェンシー株式会社 代表取締役社長
	4.生命保険業績のトレンド	2015/5/28(木)	
「超高齢社会:未知の社会への挑戦」	1.高齢者介護政策の現状と課題	2015/6/25(木)	辻 哲夫 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授 元厚生労働省 事務次官
	2.地域包括ケアシステム ～生きがい就労～	2015/6/25(木)	
	3.地域包括ケアシステム ～在宅医療～	2015/6/25(木)	
岩手県気仙地域での 地域医療実践と復興	1.医療の変遷	2015/7/30(木)	石木幹人 岩手県医療局理事/岩手県立高田病院 名誉院 長/医師・医学博士
	2.2011/3/11	2015/7/30(木)	
	3.高齢化社会への対応	2015/7/30(木)	
	4.医療活動 ～震災から現在～	2015/7/30(木)	
	5.医療活動 ～今後～	2015/7/30(木)	
初心者向け!“しごと”がはかどる Excel(エクセル)活用術	1すごいぞExcel	2015/8/27(木)	秋田 義一 技術士(情報工学部門) / 一般財団法人高度映像情報センター (AVCC)シニアコンサルタント
	2名簿をつくってみよう	2015/9/24(木)	
	3名簿を編集してみよう	2015/10/29(木)	
	4見積書を作成してみよう	2016/1/28(木)	
	5グラフを作成してみよう	2016/2/25(木)	
ビジネスパーソンのためのビジネス敬語の時間	1基礎編	2015/11/26(木)	
	2応用編	2015/12/24(木)	
新ビジネスパーソン必見! 大丈夫?あなたのことばづかい	1気持ちをことばにあらわす	2016/3/31(木)	横谷和沙 一般社団法人 話力総合研究所 理事

※「ビジネスパーソンのためのビジネス敬語の時間」は KK2 内部制作です。

-4 震が関カウンセリングプログラム ～経験豊かな専門家にキャリアについて相談～

「仕事」とは何か、そして自分にふさわしい「仕事」とは何なのかを模索している若い世代に対して、「しごと」そのものについて考えるきっかけを多くの若い世代に提供したいと考え「震が関カウンセリングプログラム」を開設しました。

今年度は 79 名の方にカウンセリングを実施しました。年齢別では、リーダー(35～49 歳)、アソシエイト(～34 歳)ともに約 5 割、相談事項については、転職が約 8 割となっています。また性別では女性が 7 割となっています。

カウンセラーは特定非営利活動法人日本キャリア開発協会(JCDA)と提携し、JCDA キャリア・ディベロップメント・アドバイザーの方に主に担当していただいております。月曜日から金曜日まで週 5 日、16:00 以降 4 コマ(約 40 分)のスポットを提供しています。初回無料、2 回目以降は有償(4,320 円 税込/平成 25 年 1 月より)です。

図-19 霞が関カウンセリングプログラム実施状況(79名)

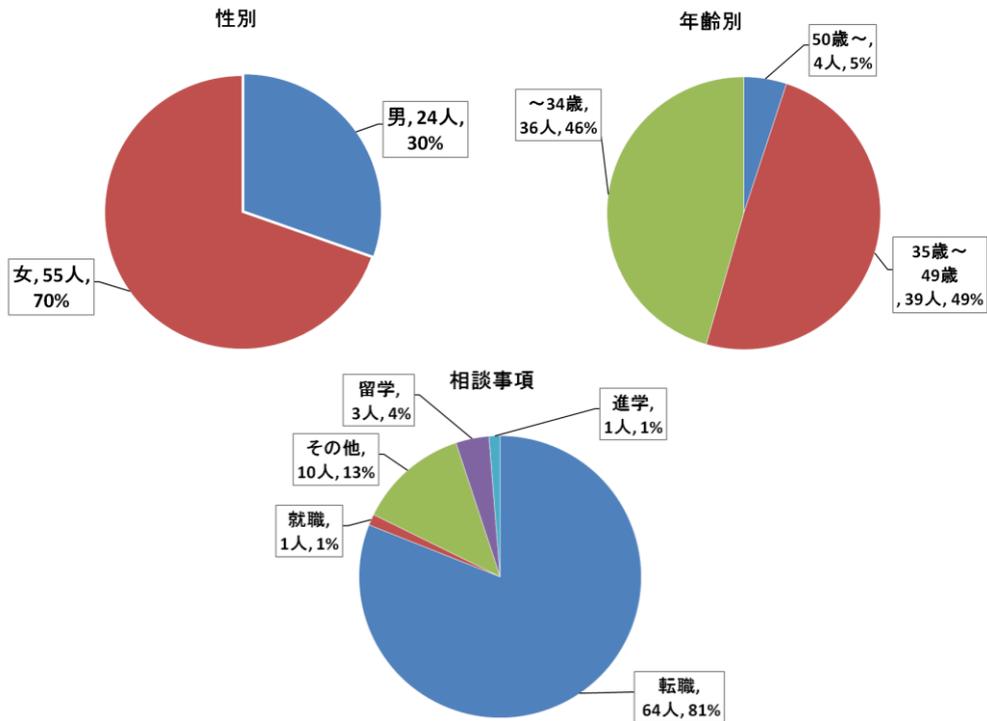


図-20 キャリアカウンセラー（平成28年3月31日現在）

カウンセラー	担当曜日	カウンセラー	担当曜日
 徳橋英治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	月曜日	 堀田治見氏 株式会社ビジネスパラダイム(日本)代表取締役	火曜日
 垣内啓江氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	水曜日	 池田秀治氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	木曜日
 田代理恵氏 JCDAキャリア・ディベロップメント・アドバイザー	金曜日	 伊庭野基明氏 グローバルキャリアカウンセラー	アドバイザー

-5 キャリアカフェ

前述のカウンセリングプログラムでご協力いただいているカウンセラーが企画するプログラムです。ユニークな経歴の方々をメンターとして招き、キャリアについて気軽に語り合う場です。司会者と10人程度の参加者で率直な質疑と交流を行います。今年度は1回開催し、11名の方に参加していただきました。

キャリアカフェ風景



図-21 「キャリアカフェ」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
第13回 甲賀宏さん そば職人 西麻布「おそばの甲賀」店主	2015/11/26(木)	11名	6名	3名	2名	336名	347名
	合 計	11名	6名	3名	2名	336名	347名

第 19 回 甲賀 宏さん



-6 KK2good books ～KK2 おすすめ書籍情報～

KK²では、良い本を読みたいが、選ぶ時間がとれない忙しいみなさんに良書を推薦しています。
(1)人と人の絆と地域の再生、(2)しごと力向上・エキスパートと学ぶ、(3)社会の課題を担うアクティブシニアを応援、という三つの視点でピックアップした図書を定例委員会で厳選し、500文字程度の紹介文を付け、カテゴリー分類をした上で、今年度は58冊紹介しました。これまで紹介した書籍は357冊となります。

-7 イノベーションプログラム ～産学官連携による大学教育改革プログラム～

「産学官連携」「大学間連携」といった大学の地域での様々な活動(Good Practice)を紹介するプログラムです。KK2の主席研究員である伊藤健二氏(明治学院大学学長特別補佐(戦略担当))の助言を受け企画しています。

「イノベーションプログラム」風景



今年度は、「文科省 COC+事業における、大学と企業の具体的な連携 ―事例と課題、地方創生を学生の視点で語る―」をテーマに1回開催し、就職を控えた現役の大学生を含め22名の方に参加していただきました。

「COC+大学としての教育と定着支援」(大森 昭生氏:共愛学園前橋国際大学 副学長、地域共生研究センター長)、「群馬県の新卒マッチング状況」(加藤 尚氏:ジョブカフェぐんま、ワークエントリー代表取締役社長)の講演後、熱心な討議が行われました。終了後は交流会を行いました。

図-22 「イノベーションプログラム」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般			
第19回「文科省COC+事業における、 大学と企業の具体的な連携 ―事例と課題、地方創生を学生の視点で語る―」	2015/12/15(火)	22名	7名	9名	6名	13名	518名	553名
	合 計	22名	7名	9名	6名	13名	518名	553名

-8 コンピテンシー・チェック ～「Feel」「Think」「Act」あなたのコンピテンシーをチェック～

社会に貢献している人、社会で活躍する人、優れた仕事をする人が備える「しごと力」の中核となるコンピテンシー「Feel(人間力)、Think(知・考力)、Act(行動力)」について理解し、自分自身の学習課題を知る Web 学習プログラムです。今年度は、Web から 63 名に利用していただきました。

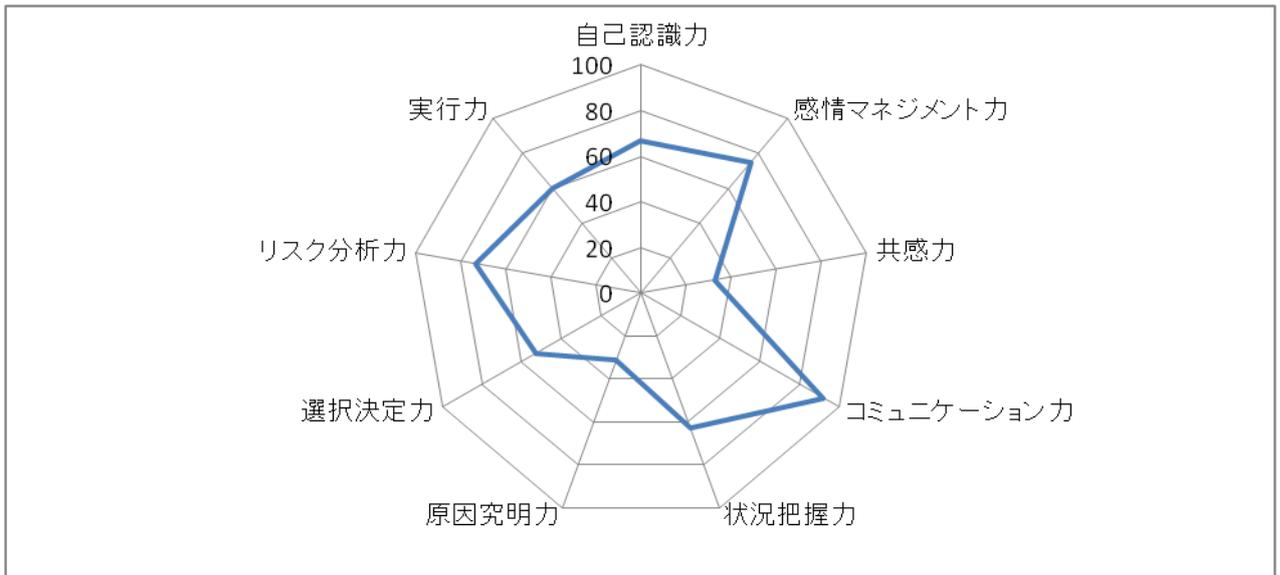
なお、学習者を LMS で管理し個人の学習履歴を提供するサービスも行っており、継続的に早稲田大学人間科学部の講座で活用いただいています。今年度は 97 名に受講者していただきました。

コンピテンシー・チェック受講 Web 画面



図-23 コンピテンシー・チェック平均スコア(KK² Web での受講者)

講座名		ケーススタディ	理解度 平均スコア
人間力	自己認識力	「就職活動」	67
	感情マネジメント力	「年下の上司」	75
	共感力	「父親の転職」	33
	コミュニケーション力	「バイトのシフト交替」	92
知・考力	状況把握力	「町のゴミ問題」	63
	原因究明力	「パソコン故障の原因」	31
	選択決定力	「妹の進路決定」	53
	リスク分析力	「犬小屋づくり」	73
行動力	実行力	「アイスホッケーのスターになるために」	60



(4) 社会の課題を担うアクティブシニアを応援

超高齢化を迎え多くの課題解決の日本の再生を図るためには、「シニア」の経験と知恵と力が必要不可欠です。社会の課題解決にチャレンジする元気な「シニア」の活動を応援します。

-1 生涯現役版「エキスパート・スタジオ」

現役を引退後、新たなフィールドでまたこれまでの経験を活用して課題解決に活躍するシニアをゲストに迎え、人生二周目のやりがい・生きがいやこれからの夢などを語っていただきます。「生涯現役社会」といわれる一方、実際には社会に受け皿が少ないのが実情です。活躍するシニアの方々を紹介する「エキスパート・スタジオ」を積み上げていくとで、生涯現役のロールモデルを見つけたいと考えています。今年度は開催しませんでした。

-2 KK²オリジナル DVD ライブラリ頒布～生涯現役版「エキスパート・スタジオ」～

「エキスパート・スタジオ」は Web で公開していますが、DVD のご要望が高いプログラムを「KK²オリジナル DVD ライブラリ」として頒布しています。

現在は、地域再生をテーマに活躍している第22回 高野誠鮮さん(石川県羽咋市役所)、第17回 豊重哲郎さん(やねだん公民館館長)のエキスパートスタジオ、そして豊重さんのインタビューをまとめた「地域再生からニッポン再生」の3タイトルを頒布しています。

DVD ライブラリ ジャケット



図-24 KK²オリジナル DVD ライブラリ 作品(税込)

タイトル名	時間	頒布価格
第22回 高野 誠鮮さん(地方公務員)	56分05秒	3,000円
第17回 豊重哲郎さん(やねだん公民館館長)	64分35秒	3,000円
地域再生からニッポン再生 豊重哲郎さんへの10の質問	27分36秒	2,000円

(5)文化に親しむ交流事業(KK²文化プログラム)

文化に親しみ、人と人との交流の場を提供する「KK²文化プログラム」は、文化庁「霞が関から文化力プロジェクト」事業として展開しています。



食文化や寄席、音楽、映画などをテーマにしたプログラムを提供し、ビジネスパーソンが文化に親しむ機会と交流の場を提供しています。

-1 KK²エントリープログラム

2014年度より、様々な分野のアーティストの方にKK²をご活用いただくために、技術や芸を磨き、その発表、公演の場を求めているアーティストを対象に出演者を募集するプログラムをスタートしました。今年度は6回開催し358名の方にご参加いただきました。

図-25 「KK²エントリープログラム」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
糸の顔き ～綿々と時を超えて～	2015/5/20(水)	67名	0名	1名	66名	266名	333名
ONGAKU音楽ONGAKU～Nishi Hitomi Solo Recital～	2015/8/28(金)	64名	16名	2名	46名	409名	473名
白石いづみ講演劇「神様からのプレゼント」 白血病が教えてくれたこと	2015/9/7(月)	46名	5名	13名	28名	626名	672名
100万人のクラシックライブ	2015/10/7(水)	65名	3名	0名	62名	554名	619名
藤井泰子×榎戸ニ幸による 「歌と絃の新世界」	2015/11/27(金)	70名	3名	8名	59名	460名	530名
和楽器スーパーユニットAUN&HIDE	2016/2/26(金)	46名	4名	0名	42名	261名	307名
合計		358名	31名	24名	303名	2,576名	2,934名

-2 霞が関寄席

ビジネスパーソンに伝統芸能に親しみ、笑い、リラックスする場を提供しています。今年度は3回開催し297名の方にご参加いただきました。そのうち9月に開催した「チャリティー霞が関寄席」では、大船渡市末崎地区公民館をライブ配信会場として20名の方にご参加いただき、金原亭駒与志さんのご厚意により木戸銭は全額デジタル公民館まっさき活動に寄付いただきました。あらためてお礼申し上げます。

図-26 「霞が関寄席」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳 末崎地区 公民館	Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般				
霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2015/5/27(水)	99名	38名	19名	42名	0名	0名	329名	428名
チャリティー霞が関寄席 金原亭駒与志独演会	2015/9/26(土)	99名	21名	25名	53名	20名	20名	458名	577名
霞が関寄席 馬吉・駒与志二人会	2015/12/2(水)	99名	37名	25名	36名	0名	0名	246名	345名
合計		297名	96名	69名	131名	20名	20名	1033名	1350名

-3 霞が関ミュージックサロン

一流の演奏家による音楽やカルチャー、伝統芸能に親しむプログラムとして、海外で活躍する日本人演奏家や、触れる機会が少ない日本の伝統芸能や古典芸能の演奏家を招いて、株式会社ミュウカルと共同企画、開催をしています。今年度は、邦楽やクラシック、オペラ仕立てのコンサートなどを開催しました。今年度は3回開催し、184名の方にご参加いただきました。

図-27 「霞が関ミュージックサロン」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
春宵～三絃、箏の響き～	2015/4/10(金)	62名	1名	1名	60名	253名	315名
邦楽展vol.27 ～Koto Collection Today～	2015/9/18(金)	95名	0名	3名	92名	353名	448名
第25回《音風・オペラチック コンサート》「電話 ～愛の語らい～」	2016/1/29(金)	27名	0名	0名	27名	261名	288名
合計		184名	1名	4名	179名	867名	1,051名

-4 霞が関音楽祭

昨年度よりスタートした文化庁が中心となって官庁・周辺企業と協同で開催する「霞が関から文化力プロジェクト」の一環として「霞が関音楽祭～音楽に包まれる1週間～」と題し7月27日(月)～7月31日(金)の1週間、霞が関コモンゲートでさまざまな音楽イベントが実施されました。

KK2では、7月28日(火)と7月31日(金)の2日間、ランチタイムに音楽会を開催し、多くの方に音楽でリフレッシュする楽しいひと時を過ごしていただきました(無料)。実施にあたっては「霞が関ミュージックサロン」でご協力いただいております株式会社ミュウカル様に協力いただきました。

図-28 「霞が関音楽祭」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
「霞が関音楽祭2015」 桐朋学園音大卒業生による ～弦楽四重奏の調べ～	2015/7/28(火)	90名	0名	0名	90名	426名	516名
「霞が関音楽祭2015」 《サインソング=手の歌》をどうぞ	2015/7/31(金)	50名	0名	0名	50名	196名	246名
合計		140名	0名	0名	140名	622名	762名

-5 食と文化講座

食を通じてさまざまな文化に触れていただく講座として、KK2 開設以来これまで 29 回開催してきました。昨年度より幅広い「食」をテーマに、ワインだけでなくウイスキーや日本酒、郷土料理、地域の名産品などを取り上げています。今年度は、4 回開催し、130 名にご参加いただきました。

実施にあたっては、協賛メンバーの株式会社 ANA 総合研究所様の地域活性化事業にご協力をいただいております。

図-29 「食と文化講座」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		
ワインの個性を 10種類のブドウ品種で味わう ～SAKURA2015 受賞ワインから セレクト～	2015/6/9(火)	33名	7名	13名	13名	434名	467名
初心者のための日本酒の楽しみ方 ～「新酒鑑評会金賞酒 3年連続最多の福島県」の 末廣酒造 新城猪之吉氏が語る～	2015/9/15(火)	40名	12名	14名	14名	683名	723名
秋田県の郷土料理「きりたんぼ」を 本場 大館市の達人が紹介します ～きりたんぼ作り体験& きりたんぼ鍋を味わう～	2016/1/28(木)	27名	8名	9名	10名	547名	574名
福井県の梅酒と食のマリアージュ ～新作梅酒開発に協力したANA客室 乗務員が梅酒のある暮らしを提案～	2016/3/2(水)	30名	13名	12名	5名	609名	639名
合計		130名	40名	48名	42名	2,273名	2,403名

-6 震が関シアター＋トークイベント

自主上映会での公開を目指し製作されているドキュメンタリー映画、教育・文化映画に上映の機会を提供、自主上映会や製作団体等との共催プログラムとして開催するプログラム。今年度は、「復興支援 IT ボランティア 27 年度学生チーム」と「デジタル公民館まっさき」の 27 年度合同活動報告会の一環として開催し、KK2 会場では 22 名に参加いただき、大船渡市末崎地区公民館（ふるさとセンター）でも同時上映会を実施し 18 名が参加しました。今回は監督の都合が調整できずトークイベントがありませんでしたが、交流会にて意見交換を行いました。

「波伝谷に生きる人々」(2014 年製作/135 分/監督 我妻 和樹)

3.11 で壊滅的な被害を受ける前の南三陸町の漁村、「波伝谷(はでんや)」の人々の平和な暮らしを描いたドキュメンタリー。

図-30 「震が関シアター」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			合計
			メンバー	Web会員	一般	
『波伝谷に生きる人々』上映会	2016/3/26(土)	22名	4名	13名	5名	22名
	合計	22名	4名	13名	5名	22名

-7 江戸 TOKYO 散歩～広重「名所江戸百景」と東京の今～

英語/韓国語/中文簡体/中文繁体版公開

江戸 TOKYO 散歩 Web 画面
<http://edo-tokyo-sanpo.com/>

KK² 開設記念に制作したオリジナル作品「江戸 TOKYO 散歩」は、歌川広重の最高傑作といわれる「名所江戸百景」から春夏秋冬の 12 景をモチーフに紹介、江戸と現在の東京の街なみ、人々の営みを映像に収めています。広く世界の方に向けて東京の魅力を発信するために、YouTube での配信を行っており無料 web 会員登録を行わなくても視聴ができます。現在プロローグを含め 13 コンテンツを 5ヶ国語で 65 個の動画を配信しています。今年度の動画視聴回数は、1,558 回となっています。



図-31 「江戸 TOKYO 散歩」動画視聴回数

動画視聴回数	日本語	英語	韓国語	中文簡体	中文繁体	合計
プロローグ	95	19	7	5	8	134
Vol.1 「虎の門外あふひ坂」(虎ノ門)	191	5	9	10	14	229
Vol.2 「浅草金龍山」(浅草)	36	8	3	24	10	81
Vol.3 「湯しま天神坂上眺望」(湯島)	34	7	24	1	8	74
Vol.4 「する賀てふ」(日本橋三越前)	95	25	27	16	47	210
Vol.5 「山下町日比谷外さくら田」(日比谷)	37	4	16	12	2	71
Vol.6 「飛鳥山北の眺望」(王子・飛鳥山)	34	12	7	5	4	62
Vol.7 「大はしあたけの夕立」(新大橋)	49	10	14	3	9	85
Vol.8 「堀切の花菖蒲」(堀切)	44	10	3	9	9	75
Vol.9 「はねたのわたし 辨天の社」(羽田)	30	4	9	2	3	48
Vol.10 「両国花火」(両国)	31	6	11	2	5	55
Vol.11 「京橋竹がし」(銀座)	25	7	187	4	4	227
Vol.12 「四ツ谷内藤新宿」(新宿)	107	34	57	3	6	207
合計	808	151	374	96	129	1,558

(6) その他(協賛プログラム)

「東日本大震災復興支援活動 第4回報告会～ランチミーティング@KK2 番外編～」に、会場提供等を行い協賛しました。報告会の模様を収録し公開しています。

また、6月5日に「平成27年度 AVCC&KK2 特別講演会～地方創生、シニアが主役～」を開催し、KK2 会場には59名の方、そして遠隔地(ライブ配信)では、末崎地区公民館や職場、自宅で44名の方にご参加いただきました。なおプログラムは、しごと力向上ライブラリとして公開しています。

特別講演会の様子



図-32 「その他」参加者数

プログラム名	開催日	KK2会場 参加者 合計	属性内訳			遠隔会場 参加者 合計	会場別内訳		Webページ 訪問者 合計	合計
			メンバー	Web会員	一般		末崎地区 公民館 (衛星)	職場・自宅 (ライブ配信)		
東日本大震災復興支援活動 第4回報告会 ～ランチミーティング@KK2 番外編～	2015/4/9(木)	26名							45名	71名
「平成27年度AVCC&KK2特別講演会 ～地方創生、シニアが主役～」	2015/6/5(金)	59名	5名	2名	52名	44名	7名	37名	795名	898名
合 計		85名	5名	2名	52名	44名	7名	37名	840名	969名

(7) Web サイト・メールマガジン等による情報発信他

-1 KK² Web サイトでの情報発信

KK²の自主企画プログラムは、収録を行い Web コンテンツとして公開し、いつでも誰でも無料で学べる環境を提供しています。また、KK² コンピテンシー「しごと力」カテゴリで整理し公開しています。

また、昨年度に Web サイトをリニューアルし、コンテンツのスマートフォン、タブレット対応、学習記録を蓄積する(e ポートフォリオ)機能、プログラムへの学習者の評価(アンケート)取得機能、レンタルスペース予約状況確認と利用申し込み機能などを追加しています。

今後の課題は集客を増やしユーザーを拡大することです。KK² としても良質なプログラムを用意しユーザーが見やすく、知りたい情報により速く的確にアクセスできる web サイトを目指してブラッシュアップを図っていきます。

なお、これまで Flash での制作を行っておりましたが、12 月にセキュリティの問題が発生し Flash は使用せずに動画を配信することに変更をいたしました。それに伴い動画の仕様を変更し、ウォータマークの掲載、画質の向上等に取り組んでいるところです。

KK² Web サイト画面



-2 霞が関ナレッジスクエア Facebook ページ

KK² Web サイトと連動し、ゆるやかなファンとの交流を促進するために「Facebook ページ」を運営しています。各種プログラムの告知、出演者からのメッセージ、エキスパート倶楽部のメニュー紹介などタイムリーな情報を発信しています。

KK² Facebook 画面



-3 メルマガ「メッセージ from KK²」発行(毎週金曜日)

毎週金曜日、Web 会員向けにメールマガジンを発行しています。内容は、巻頭言「メッセージ from KK²」「人と人の絆と地域の再生」「しごと力向上・エキスパートと学ぶ」「新しい役割を担うアクティブシニアを応援」「ライブセミナー」「文化に親しむ交流事業」「無料でご覧になれるプログラム」「goodbooks」「交流カフェエキスパート倶楽部」「事務局からのお知らせ」で構成されています。今年度は 50 回発行しました。通巻では 417 号となります。(2016 年 3 月 25 日発行時点 6,672 名)

KK² メルマガ「メッセージ from KK²」画面



(8)その他運営

-1 霞が関ナレッジスクエア運営委員会の開催

平成27年度運営委員会は平成26年度事業報告および平成27年度事業計画について平成27年6月24日に開催、平成27年度上半期報告について平成27年12月2日に開催しました。

なお、プログラム開発委員会は今年度開催しませんでした。

2015年6月24日開催 霞が関ナレッジスクエア運営委員会出席者(敬称略)

【委員】

福田 猛	一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
坪田 高樹	国立研究開発法人 科学技術振興機構 イノベーション推進本部 産学基礎基盤推進部 副調査役
藤野 仁三	東京理科大学大学院 嘱託教授 知的財産教育研究・専門職大学院協議会 会長
関 朋一	株式会社久米設計 業務本部 総務部 副部長
原野 郁哉	東京建物株式会社 ビルマネジメント部 部長
佐藤 聖児	大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部 課長
興水 司郎	大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部 課長代理
村上 元樹	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部 PFI 担当 シニアマネージャー
星野 倫	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部 PFI 担当

【オブザーバー】

齋藤 康行	文部科学省 大臣官房会計課 管理班主査
-------	---------------------

【霞が関ナレッジスクエア(KK²)】

久保田了司	一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)理事長/ KK ² (霞が関ナレッジスクエア)代表
伊庭野基明	AVCC 理事/KK ² グローバルキャリア・カウンセラー
伊藤健二	KK ² 産学官連携主席研究員 明治学院大学 特別学長補佐(戦略担当)
(事務局)	山田瑞恵/丸山 修

2015年12月3日 震が関ナレッジスクエア運営委員会出席者(敬称略)

【委員】

福田 猛 一般社団法人大学技術移転協議会 事務局長
坪田 高樹 国立研究開発法人 科学技術振興機構
イノベーション推進本部 産学基礎基盤推進部 副調査役
藤野 仁三 東京理科大学大学院 嘱託教授
知的財産教育研究・専門職大学院協議会 会長
関 朋一 株式会社久米設計 業務本部 総務部 副部長
原野 郁哉 東京建物株式会社 ビルマネジメント部 部長
佐藤 聖児 大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部 課長
興水 司郎 大成建設株式会社 都市開発本部 公民連携プロジェクト部 課長代理
村上 元樹 新日鉄住金エンジニアリング株式会社
建築・鋼構造事業部 PFI 担当 シニアマネージャー
星野 倫 新日鉄住金エンジニアリング株式会社 建築・鋼構造事業部 PFI 担当

(欠席)

【委員】

坪田 高樹 独立行政法人 科学技術振興機構
イノベーション推進本部 産学基礎基盤推進部 副調査役

【オブザーバー】

齋藤 康行 文部科学省 大臣官房会計課 管理班主査

【震が関ナレッジスクエア(KK²)】

久保田了司 一般財団法人高度映像情報センター(AVCC)理事長/
KK²(震が関ナレッジスクエア)代表
伊庭野基明 AVCC 理事/KK²グローバルキャリア・カウンセラー
伊藤健二 KK²産学官連携主席研究員
明治学院大学 特別学長補佐(戦略担当)
(事務局) 山田瑞恵/丸山 修

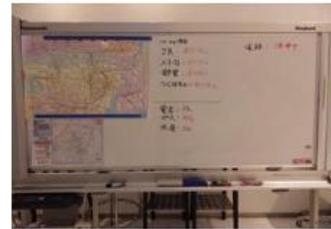
-2 大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定

2015年2月、千代田区と「大規模災害時における帰宅困難者等受入に関する協定」を締結しました。震災等の災害により被災した千代田区内の帰宅困難者等を一時的に「エキスパート倶楽部」と「スタジオ」に受入協力を行います。

7月には区の災害対策本部と専用無線で結ばれ、リアルタイムな情報連携が図れる環境を整えました。月1回千代田区災害対策危機管理課と防災無線の開通テストを実施しており、2016年2月には実際の帰宅困難者受入を想定した訓練も行いました。東日本大震災発災時にKK2として独自に帰宅困難者受入を行った経験を活かし充実を図っております。

帰宅困難者に対しては、以下の環境を整えております。

- ・3日分の水食料、毛布、携帯トイレなどの備蓄
- ・災害時特設公衆電話(4回線)の設置
- ・大型ディスプレイでの災害情報番組の放送
- ・最新の交通情報、被害情報などの提供
- ・Wi-Fi回線の開放及びパソコンの無料貸与
- ・スマホや携帯電話の充電対応 など



[2016年2月8日開催 帰宅困難者等一時受入訓練風景]

Ⅲ コンサルティング事業

(1) 情報システムコンサルティング業務

- 1 東京都青梅市において、基幹系システム再構築に係るコンサルティングを行いました。現行の汎用機を用いた基幹系システムの再構築に際し、次期オープン系システムに求める要求機能の精査、調達仕様書等作成、業者選定にかかる審査支援を行い、導入までの進捗管理を行いました。
- 2 山梨県笛吹市において、情報システム最適化調査及び IT ガバナンス構築支援を行いました。今年度は、調達ガイドラインの推進のための支援、情報資産台帳の作成のための支援、ITリーダー育成のための支援、ITガバナンス構築のための支援を行い、今後の IT 業務の標準化へ向けコンサルティングを実施しました。
- 3 山梨県上野原市において、基幹業務系システム（住民記録、税、福祉関係のシステム）がリリース完了を迎えるにあたり、次期システムについて、クラウドなども含め、導入に向けた各種検討を行いました。
- 4 山梨県市川三郷町において、現在利用している統合型GISが最新OS（クライアント、サーバ共）に対応できていないことから、新しいシステムに更新するための、実施設計を行いました。
- 5 山梨県国民健康保険団体連合会において、現行国保総合システムの保守・運用経費に係る助言及び次期国保総合システムの導入及び保守・運用経費の評価支援を行いました。

(2) ネットワーク構築コンサルティング業務

- 1 東京都総務局において、伊豆諸島 5 村 6 島(利島、新島、式根島、神津島、御蔵島、青ヶ島)へ海底光ファイバケーブルを敷設するための、要件整理、性能検討、ルート検討、所要経費等を整理し、費用対効果に優れた方式を確保するための要求水準書の作成支援を行いました。今年度は、第 1 期整備分として、三宅島－御蔵島－神津島ルートについて、必要な資料をまとめました。
- 2 高知県土木部において、災害発生時における国土交通省から高知県庁間の通信回線確保のため、既存多重無線回線設備の IP 化及び方路変更の実施に向けた調査及び設計業務を行いました。

- 3 山梨県上野原市において、平成 16 年から 24 年にかけて市が敷設した光ファイバケーブルについて、市内全域の調査を実施し、電柱移転等でルートが変更になった部分などを反映したネットワーク図の作成を行いました。

(3)防災・消防関連コンサルティング業務

- 1 消防・防災無線等のデジタル化構築にあたり、以下の設計及びコンサルティング業務を行いました。
 - 1) 宮崎県美郷町防災行政無線（デジタル移動系）施設整備及び消防救急無線施設実施設計業務
 - 2) 東京都墨田区防災行政無線システム再構築実施設計業務
 - 3) 東京都利島村防災行政無線（同報系・移動系）デジタル化調査設計業務
 - 4) 山梨県上野原市防災行政無線（同報系）デジタル化実施設計業務
 - 5) 福岡県みやこ町防災行政無線（勝山地区同報系デジタル化）調査・実施設計業務
 - 6) 高知県香美市防災行政無線デジタルシステム(同報系)整備設計業務
 - 7) 千葉県酒々井町同報防災無線デジタル化実施設計業務
 - 8) 神奈川県川崎市同報系防災行政無線屋外受信機の増設候補地調査業務
 - 9) 茨城県稲敷市防災行政無線同報系整備基本設計及び実施設計業務
 - 10) 茨城県つくば市デジタル MCA 防災行政無線増設調査設計委託
 - 11) 高知県土佐清水事務所移転に伴う電波伝搬路調査委託
 - 12) 東京都荒川区デジタル化に伴う情報配信の多様化についての基本設計業務
 - 13) 宮崎県諸塚村防災行政無線（同報系）デジタル化整備事業実施設計業務
- 2 消防・防災無線等の設備工事にあたり、以下の施工監理業務などを行いました。
 - 1) 鹿児島県指宿市デジタル防災行政無線設置工事監理業務
 - 2) 福岡県筑前町防災行政無線施設整備工事監理業務
 - 3) 神奈川県大和市防災行政無線デジタル化工事監理業務
 - 4) 東京都北区地域防災無線（同報系）難聴対応・デジタル拡声子局設置業務監理
 - 5) 岡山県玉野市防災行政無線整備に伴う施工監理業務
 - 6) 東京都日野市防災行政無線(同報系)デジタル化工事監理業務
 - 7) 鹿児島県長島町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事施工監理業務
 - 8) 奈良県山添村防災行政無線（同報系）デジタル化整備工事監理業務
 - 9) 東京都練馬区同報系防災行政無線デジタル化等整備工事監理
 - 10) 北海道滝川地区広域消防事務組合赤平消防署消防救急デジタル無線設備整備工事監理業務

- 11) 長崎県西海市大瀬戸地区防災行政無線デジタル化更新整備工事施工監理業務
- 12) 長野県大桑村防災行政無線デジタル化整備事業監理業務
- 13) 鹿児島県長島町地域コミュニティ無線整備工事施工監理業務
- 14) 北海道岩見沢地区消防事務組合消防救急デジタル無線設計監理業務
- 15) 埼玉県富士見市防災行政無線(移動系) デジタル化工事監理業務
- 16) 静岡県森町防災行政無線デジタル化設備設置工事監理業務
- 17) 宮崎県美郷町防災行政無線(デジタル移動系) 及び消防救急無線施設整備工事施工監理業務
- 18) 東京都千代田区防災行政無線デジタル化に伴う更新及び情報提供機器の整備監理業務
- 19) 東京都東久留米市防災行政無線デジタル化工事監理及び子局実施設計業務
- 20) 東京都国立市防災行政無線(固定系) 更新工事監理等業務
- 21) 東京都町田市防災行政無線設備再構築工事監理業務
- 22) 埼玉県富士見市防災行政無線(同報系) デジタル化工事監理業務
- 23) 高知県香美市防災行政無線デジタルシステム(移動系)整備工事監理業務

ー 3.その他、以下の防災関連コンサルティング業務を行いました。

- 1) 東京都豊島区防災行政無線設備等移設業務
- 2) 山梨県都留文科大学緊急通報装置工事設計及び監理業務

(4)地域活性化コンサルティング業務

-1 熊本県南小国町において、町内のインターネット環境改善、CATVの更新の方針、今後の情報化のニーズなどについて住民アンケート等から現状の課題を抽出し、対応検討を実施。町で設置する委員会との連携を図りながら、情報化計画をまとめました。

(5)情報セキュリティコンサルティング業務

-1 東京都府中市において、情報セキュリティ外部監査を実施しました。脆弱性に関して実効性のある対策を助言を行うと共に、情報セキュリティセミナー等を開催し、セキュリティ対するリテラシーの向上を図りました。

-2 山梨県笛吹市において、情報セキュリティ外部監査及び内部監査のための監査員研修を実施しました。

- 3 東京都足立区において、マイナンバー制導入に伴う、特定個人情報保護評価書(PIA)の作成支援を行いました。住民基本台帳と地方税の2事務について作成し、全項目評価を実施し、それに対する職員研修とガイドラインの作成を行いました。
- 4 山梨県甲州市において、情報セキュリティに関しての全職員研修を実施しました。

(6)事業継続計画(BCP)策定業務

- 1 山梨県上野原市において、大規模な災害・事故が発生した場合、組織及び周辺地域の被害により人、物、情報、資金、公共インフラ等が利用できる資源に制約がある状況に陥ることが予想されるため、そのような状況においても、中断させることができない、あるいは復旧を優先すべき重要業務を事前に特定し、事前のバックアップ準備やリスク軽減、事後の災害時応急対応、復旧手順の明確化、指揮命令系統の確保等の計画をあらかじめ策定し、被災の影響を最小限にとどめるためのBCPを作成支援しました。
- 2 山梨県身延町においても、大規模な災害時でも、中断させることができない、あるいは復旧を優先すべき重要業務を事前に特定し、事前のバックアップ準備やリスク軽減、事後の災害時応急対応、復旧手順の明確化、指揮命令系統の確保等の計画をあらかじめ策定し、被災の影響を最小限にとどめることを目的にBCPを作成支援しました。

(7)危機管理教育支援

前述のKK²事業「人と人の絆と地域の再生」カテゴリでは、「心と体のストレッチ」「震が関防災キャンプ～帰宅困難を体験して防災体質になろう～」といった、体感型危機管理プログラムを実施しています。昨年度より、これらのプログラムを軸とした危機管理教育の企画、支援業務を行っています。

研修の企画、講師には、KK²のアドバイザーメンバーである鎌田修広氏(株式会社タフ・ジャパン 代表取締役)にご協力いただいております。元消防訓練センターの体育訓練担当教官という経歴を持ち、現在も全国の消防学校を中心に防災教育を行っています。”現場”を知る講師としてユニークな視点に立った体験型の研修は、民間企業、団体へと活動の場を広げており、高い評価をいただいております。

-1 東京ミッドタウンマネジメント株式会社様 「親子で防災トレーニング」

東京ミッドタウン(東京都港区)様の親子向け夏休みイベントとして防災トレーニングを実施しました。防災の知識、スキルだけではなく、子ども達が主役となり親を助けるという視点でプログラムを構成し、親子の絆を深めていただく場となりました。

基本的な身の安全の守り方、暗闇での搜索や体温の保持、胸骨圧迫、救出・搬送や災害用携帯トイレなどの体験、また東京ミッドタウン様の防災設備を見学していただき施設側の防災への取り組みについても理解を深めていただきました。

なお、本イベントの様子は読売新聞社ジュニア記者の取材を受け、新聞に掲載されました。



- ・開催日 2015年8月23日、30日
(同じ内容を2回開催)
- ・時間 各回約4時間
- ・対象者 小学生(主に低学年～中学年)と保護者(一般募集)
- ・参加人数 約80名(各回約40名)
- ・主催 東京ミッドタウンマネジメント株式会社
- ・会場 東京ミッドタウン

-2 東京ミッドタウンマネジメント株式会社様 「防災センター要員等の合同防災研修」

オフィス、ホテル、美術館、商業施設、レジデンス等を含む大規模複合施設である東京ミッドタウン様のテナント、住民のみなさん、来訪者の安心安全を守る防災センター要員および協力会社の方たちを対象とした合同防災訓練を実施しました。

日々さまざまな訓練を実施し備えていますが、実際の有事には組織を超えた連携が不可欠ということから、災害時対応能力のさらなる向上、および組織の垣根を越えた連携力向上を目的としました。

災害心理、自分自身やお客様の安全確保、情報収集・共有、模擬救出訓練など、意識を共有化しチーム力を高め、基本技術の再確認を行いました。



- ・開催 2016年1月9日(土)、17日(日)(同じ内容を2回開催)
- ・時間 各回約5時間
- ・対象者 防災センター要員を中心とした協力会社の責任者
- ・参加人数 約100名(各回約50名)
- ・主催 東京ミッドタウンマネジメント株式会社
- ・会場 東京ミッドタウン

-3 三井不動産株式会社様 「胆力向上研修」

お客さまの安全を守り、安心を提供するビル管理業務に取り組む三井不動産株式会社のオフィススタッフを対象に研修を実施しました。防災センター要員の資格を有し日々訓練を行っているプロフェッショナル集団であり、「気力」「体力」「胆力」をスタッフ育成のテーマとしている部門です。

「想定外」という言葉が使われる近年の大規模災害に対応するためにも、防災に限定せず「胆力を鍛える」というテーマで研修を構成しました。心と体にストレスをかけいかにリカバリーするか、体力テストも取り入れた研修を積み重ねているスタッフだからこそ実現できたハードな研修内容となりましたが、参加者それぞれの「胆力」について、体と心で感じ、考える機会を提供することができました。



- ・開催 2016年2月27日(土)、3月5日(土)(同じ内容を2回開催)
- ・時間 各回約4時間
- ・対象者 ビル管理業務の中核を担うスタッフ
- ・参加人数 約20名(各回約10名)
- ・主催 三井不動産株式会社

-4 三井不動産株式会社様 「帰宅困難者対応訓練」

三井不動産株式会社様では全社を挙げた総合震災対応訓練を毎年実施しており、その一部である帰宅困難者対応の役割を担う一般従業員向けに「帰宅困難者対応訓練」を実施しました。

本社ビルの下に位置する日本橋地区に帰宅困難者を受け入れる計画となっており、災害発生時には一般管理部門等の従業員も一丸となつての対応が求められます。

すでに備蓄品の配備や対応マニュアル等は整備されていますので受入れを行う際に適切な対応をとることができるように、心構えや災害心理等について理解をしていただきました。

帰宅困難者を受入れるエリアを実際に歩きながらAEDや消火器などの場所や人が集まった時に危険が想定される場所の確認、また災害心理の視点に立った情報の伝え方のポイント、情報提供の重要性などについて解説しました。後半は、それらを踏まえ、実際に対応マニュアルに沿って施設運営訓練の実施が行われました。



- ・開催 2016年3月18日(金)
- ・時間 約3時間
- ・対象者 帰宅困難者対応の役割を担う一般従業員
- ・参加人数 約100名
- ・主催 三井不動産株式会社

(8) プライバシーマーク認定審査業務

経済産業省が普及・啓蒙している、個人情報保護に関する第三者認定制度「プライバシーマーク制度」の認定について、(一財)日本情報経済社会推進協会及び(一財)放送セキュリティセンターに対し、審査支援業務を行いました。

IV 運用保守等業務支援事業

(1) 情報システム運用支援業務

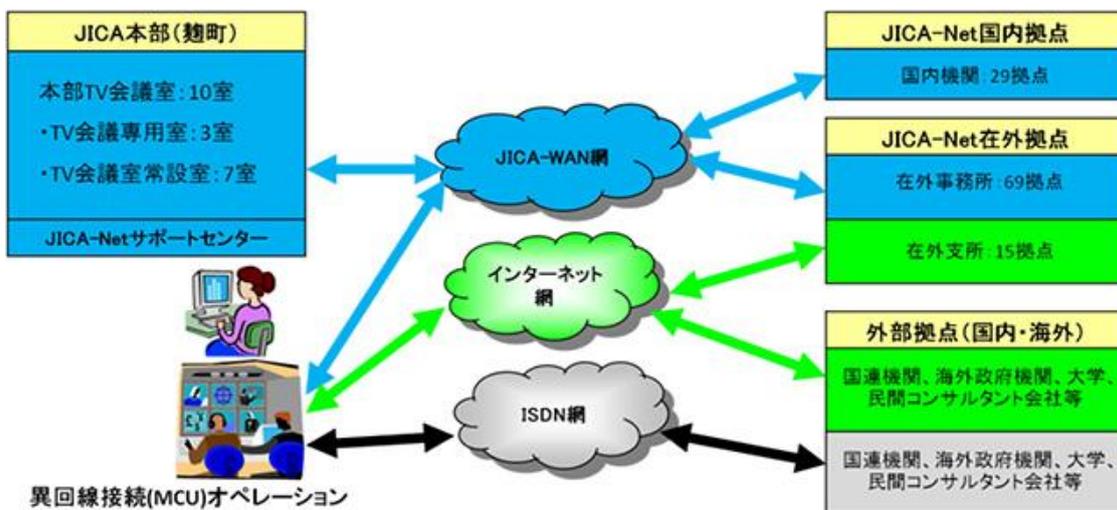
-1 山梨県上野原市において、ICT 運用コンサルティング業務を行いました。地域イントラネット網、電算系システム、統合型 GIS を含めた ICT 全般の運用に関して、現状調査を行い、今後の最適な運用及びシステム更新について助言を行いました。

-2 山梨県甲州市において、番号制度を導入するにあたり、番号制度の概要・制度導入に伴う業務の変化・制度導入後における職員の対応などについて、全職員を対象とした勉強会を開催しました。

(2) TV 会議システム運用業務

独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託を受けて、JICA が運用する TV 会議システムの機能を最大限に活用し、より効果的かつ効率的な技術協力、有償資金協力、無償資金協力等の JICA 事業を実現すること、及び事業の機会拡大に資することを目的として、JICA 内に業務従事者を配置し、具体的に以下の TV 会議システム運用支援業務やそれに付随する業務を行いました。

- 1 TV 会議接続オペレータ業務、施設管理業務
- 2 TV 会議システム ヘルプデスク業務
- 3 TV 会議室、TV 会議機器更新に伴うコンサルティング業務



(3) 情報システム保守業務

- 1 松戸市文化会館ホール映像収録システム等の保守管理業務(千葉県松戸市)
- 2 松戸市文化会館映像配信システム保守管理業務(千葉県松戸市)
- 3 松戸市生涯学習情報提供システム(まつどまなびいネット)保守管理業務(千葉県松戸市)
- 4 松戸市文化ホール社会教育推進関連機器保守管理業務(千葉県松戸市)
- 5 学校法人昭和女子大学AVシステムの保守管理業務(学校法人昭和女子大学)
- 6 学校法人松本歯科大学AVシステムの保守管理業務(学校法人松本歯科大学)
- 7 情報システムの保守管理業務(学校法人愛知大学東京事務所)
- 8 日本アムウェイ合同会社本社AVシステム保守管理業務
- 9 日本アムウェイ合同会社地方プラザ(全国8ヶ所)AVシステム保守管理業務
- 10 末崎地区公民館の IT 環境(インターネット接続、無線 LAN)の保守管理業務

V 教材企画制作事業

(1) 生涯学習情報提供システム事業

AVCCが開発した生涯学習情報提供システムを導入済みの自治体に対しては利便性の向上を目的とした機能追加ソフトの開発を提案いたしました。

VI 運営に関する事項

(1) 役員等名簿

理事長	久保田了司	当財団代表理事
常務理事	久保田庸弘	当財団業務執行理事
理事	清水 康敬	東京工業大学 学長相談役・名誉教授 工学博士
	永岡 慶三	早稲田大学 人間科学学術院 教授
	伊東信一郎	ANA ホールディングス(株)代表取締役会長
	正殿 博章	ニッセイ保険エージェンシー(株)代表取締役社長
	世木 茂	(一社)日本能率協会 顧問
	佐野 元昭	(株)ケイ・アイ・エス情報科学研究所 代表取締役社長
	伊庭野基明	グローバルキャリアカウンセラービジネスコーチ
	馬場 弘子	(株)サンカントサンク 代表取締役
監事	鈴木 重文	弁護士
評議員	米里 文明	(株)インフィニトラベルインフォメーション 元代表取締役社長
	稲葉 徹	センクシア(株) 監査役
	大串 夏身	元 昭和女子大学 大学院生活機構研究科 特任教授
	唐澤 誠	(株)唐澤誠建築音響設計事務所 代表取締役
	福原 美三	(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会 事務局長 明治大学 研究・知財戦略機構 特任教授

(2) 会議等の開催

-1 第1回理事会(通常)

開催日:平成 27 年 6 月 5 日
 開催場所:霞が関ナレッジスクエア
 主な議題:平成 26 年度事業報告・決算報告
 公益目的支出計画実施報告
 (株)メディアリンクとの取引実績

-2 第1回運営委員会(定例)

開催日:平成 27 年 6 月 24 日
 開催場所:霞が関ナレッジスクエア
 主な議題:平成 26 年度活動報告及び平成 27 年度活動計画

-3 第1回評議員会(定時)

開催日:平成27年6月19日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成26年度事業報告・決算報告

公益目的支出計画実施報告

(株)メディアリンクとの取引実績

-4 第2回運営委員会(定例)

開催日:平成27年12月3日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成27年度上期活動報告・下期活動計画

-5 第2回理事会(通常)

開催日:平成28年3月7日

開催場所:霞が関ナレッジスクエア

主な議題:平成28年度事業計画・収支予算

(株)メディアリンクとの取引予定

(3)会員等 (平成28年3月)

賛助会員	35 団体
協賛メンバー	34 団体
法人メンバー	4 団体
個人メンバー	21 名
Web 会員	9,963 名

【平成27年度事業報告の附属明細書について】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載するべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上